

電池の交換

交換の必要性

制御弁式(シール)鉛蓄電池は、充電すると内部の正極格子が腐食して伸びます。そして、使用期間が長くなると徐々に使用可能時間が短くなり、蓄電池内部においても正極格子の腐食や電解液中の水分減少等が進行していきます。蓄電池の寿命を過ぎて蓄電池を使用し続けると、容量が0になるとともに蓄電池が熱暴走(充電電流増加と温度上昇の悪循環が生じること)したり、漏液したりする可能性があります。このような状態になる前に蓄電池交換を行ってください。

交換時期を過ぎて使用しますと、最悪の場合蓄電池から発煙・発火が生じる可能性があります。当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

交換時期

蓄電池が寿命になったら交換してください。

寿命に至るまでの期間は、蓄電池表面温度や充放電条件、機器の特性等により変わってきます。実機にて十分ご確認の上、交換時期を決定してください。

特にバックアップ用途でご使用の場合、蓄電池温度¹⁰ 上昇により蓄電池寿命は半分になります。使用機器での電池表面温度を確認してください。

使用機器の内部発熱等により、内蔵された蓄電池の表面温度は使用機器の雰囲気温度より高くなる場合があります。

下記は発火を防止するための充電許容時期であり、蓄電池の保証寿命、期待寿命(実験室での高温加速試験結果により推定した平均寿命)とは異なります。保証寿命は仕様書内特性項目、期待寿命はカタログ等をご参照ください。

交換が行われない場合の危険性

交換が行われない場合、正極板格子の腐食・伸びによる電槽破損・電解液漏液、もしくは正極板格子の腐食・伸びによる内部ショート・アークが起こり、最悪の場合、電池が発煙・発火する可能性がありますので、蓄電池を定期交換していただきますようお願い申し上げます。

バックアップ用途における充電許容期間は右記の通りです。やむを得ず交換できない場合でも、蓄電池の充電停止等の対策は必ず実施してください。

【充電許容期間】

項目	LC P/LC X シリーズ		LC R/UP-RW シリーズ	
	充電許容時期	25 以下	7年	25 以下
	30	5年	30	3年
	40	2.5年	40	1.5年

温度は蓄電池表面温度を示しています。
蓄電池にバックアップ機能を持たせるためには、上表よりもさらに早めに蓄電池を交換してください。